contrabass quartet

The Quartet





2026年
12月15日 Tue
開演 18:00 〔開場 17:30〕

会場
京都文化博物館
別館ホール





出演：下川朗　白井菜々子　十河七海　森田麻友美

Program

ブラームス	ハンガリー舞曲 第五番
バリエール	二本のチェロのためのソナタ
ボッテジーニ	グラン・デュエット 第三番
塩見康史・編	日本のうたメドレー 〜滝廉太郎・山田耕筰名歌集〜
川上哲夫	コントラバス四重奏のためのソナタ

・チケット料金
一般 / 4,000円　学生 / 2,000円

・お申し込み（teket）

・お問い合わせ（主催：The Quartet事務局）
office.thequartet@gmail.com

The Quartet

2024年、白井菜々子の呼びかけによって結成された本格派コントラバス四重奏団。
確かな技術と豊かな音楽性を兼ね備え、ソロ、室内楽、オーケストラなど幅広い分野で活躍する4人の奏者が、コントラバスという楽器の新たな可能性を追求している。重厚な低音から繊細な表情まで自在に描き出すアンサンブルは高い評価を受け、結成翌年に開催したコンサートのチケットは完売。以降の公演も好評を博している。今もっとも勢いのあるコントラバス四重奏団の一つとして注目を集めており、今後は全国各地へと活動の幅を広げることを目指している。



下川朗

千葉県船橋市出身。15歳よりコントラバスを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業後、桐朋オーケストラ・アカデミーを修了。2020年1月から2026年1月まで札幌交響楽団、2026年3月よりオーケストラ・アンサンブル金沢コントラバス奏者。これまでに高橋洋太氏、西田直文氏に師事。2018年、第7回秋吉台音楽コンクール弦楽器部門第1位および総合優勝(山口県知事賞)を受賞。2021年、第19回東京音楽コンクール弦楽部門第3位を受賞。札幌交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。現在、国内プロオーケストラに首席奏者として客演するほか、ソリストとしても精力的に活動している。札幌交響楽団在籍中、札幌市内で5回のリサイタルを開催。確かな技巧に裏打ちされた、叙情に富む音楽性が高く評価されている。犬派。

森田麻友美

八王子生まれ。3歳からバイオリンを始める。国立音楽大学附属高校にコントラバスで入学。在学中、学校の推薦により国立音楽大学附属高校オーケストラと共演しコントラバスコンチェルトを演奏する。桐朋学園大学にて西田直文氏に師事。
第86回読売新聞社主催新人演奏会に出演。桐朋学園大学院修士課程を1期生で修了。新日本フィルハーモニー交響楽団フォアシュピラー契約団員を経て、現在日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者。

白井菜々子

15歳よりコントラバスを始め、高群誠一、星秀樹の各氏に師事。
桐朋学園大学在籍後ウィーン国立音楽大学に留学し、Josef Niederhammer氏のもとで4年間研鑽を積む。帰国後は東京音楽大学に編入、同大学大学院修士課程を修了。
第4回トレヴィーゾ市国際音楽コンクール第1位、第19回コンセール・マロニエ21弦楽器部門第1位、第13回東京音楽コンクール弦楽器部門第3位。第86回読売新人演奏会に出演。
16年東京フィルハーモニー交響楽団と共演。

十河七海

京都市立京都堀川音楽高校、東京藝術大学を経て、東京藝術大学大学院修士課程を修了。これまでに西口勝、池松宏、吉田秀、西山真二、幣隆太朗、石川滋の各氏に師事。第12回秋吉台音楽コンクールコントラバス部門第2位(最上位)ならびにグランプリである山口県知事賞、第5回泉の森コントラバスコンクール第2位(最上位)。関西フィルハーモニー管弦楽団、京都新祝祭管弦楽団とソリストとして共演。第37回京都芸術祭音楽部門京都府知事賞。現在は、国内の主要オーケストラへ客演する傍ら、2018年から毎年、京都を中心に、コントラバスソロのリサイタルを開催している。

会場

京都文化博物館 別館ホール

〒604-8183 京都市中京区高倉通り三条上る東片町623-1

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車【5】番出口から三条通りを東へ徒歩3分
- 阪急「烏丸駅」下車【16】番出口から高倉通りを北へ徒歩7分
- 京阪「三条駅」下車【6】番出口から三条通りを西へ徒歩15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩2分